

## 中高生世代スペース 現状報告

### 1. 利用者数 (令和6年度 R6.6.27~)

対象者	登録	利用者数	内訳		
			フリースペース	個人スペース(窓際)	自習スペース(多目的室)
中学生	188	1,402	1,670	386	123
高校生	126	757	336	584	290
その他	1	7	10	0	0
合計	315	2,166	2,016	970	413

### 利用者数 (令和7年度~R7.9.30)

対象者	登録	利用者数	内訳		
			フリースペース	個人スペース(窓際)	自習スペース(多目的室)
中学生	214	1,291	1,664	276	161
高校生	86	588	538	233	166
その他	1	26	17	18	2
合計	301	1,905	2,219	527	329

※一人が2か所以上利用している場合あり

- 開所から15か月の利用者属性
- ・中学生 延べ利用者 2,693人 月平均180人
  - ・高校生 延べ利用者 1,378人 月平均 92人
  - ・中学生はフリースペースの利用が多く、高校生は自習スペースの利用が多い。
  - ・昨年度に比べ、本年度は1.3倍の利用者数で、利用者数を伸ばしている。

### 2. 時間ごとの利用者数 (令和7年度)

**平日の動向**…学校終了後とテスト期間中の利用が多い。不登校の子どもは午前中利用

**土日の動向**…学校の部活等次第で利用者数が多い日と少ない日がある。

※一人が複数時間利用している場合あり

### 3. 学習支援事業 (令和6年度)

	人数
中学生	64
高校生世代	22
その他	0

毎週水曜日 16:30~18:30  
(令和7年度から 17:00~19:00)



### 4. 相談支援事業 (令和6年度)

	人数
中学生	19
高校生世代	6
その他	3

## 5. その他事業、イベント等主なもの（令和6年度）

①ユースカフェ：毎週土曜日午後 39回 265人

お茶とお菓子を提供して、利用者のコミュニケーションを図る。

② みらいく子育てひろば職員体験：1月20日（土）1人

職業体験の一環として、子育て広場の職員を体験

③学習支援：毎週水曜日 16:30～18:30 36回

（今年度は利用しやすい時間帯として 17:00～19:00）

④企画委員会：毎月1回 9回

参加者自らイベントに企画や運営に携わり、自己成長や自信の構築を図る。

企画委員会自主講演会 3月15日（土）

「読書が苦手な僕が、小説を書いて賞をとった件」

第68回学芸サイエンスコンクール 文部科学大臣受賞 加藤成竜君講師

⑤プレコンセプションケア：\*11月27日（水）16:30 参加者8人

「心のかたち あなたは何色？自分の心を見てみよう」

実践女子大学塩川宏郷教授

\*2月9日（土）14:00 参加者8人

「つきあうってどういうこと？中高生世代から知るプレコンセプションケアとは」

埼玉医科大学高橋幸子助教

## 6. 課題

①周知方法については、市内公立中学校、市内都立高校へ年度当初に事業の啓発チラシを配布。イベントカレンダーは市内公立中学校と都立高校にメールとチラシを送って周知している。昨年行った初回利用者へのアンケートは、知ったきっかけとして「友人・知人」からの紹介や情報で来ている児童が最も多かった。インスタグラムやHPも活用しているが、チラシやイベントカレンダーの届かない不登校や市外の高校へ通学している生徒への周知について検討が必要。

②にぎやかなフリースペースと集中して取り組みたい自習スペースの共存が難しい場合がある。フリースペースが狭いことで、にぎやかな中学生に占領されると、高校生がフリースペースを利用しにくい現状もある。立地的な不便さであることから、市内の児童館など中高生が使える居場所と連携して、子どもにとって通いやすい居場所を見つけてもらえるような取り組みを行っていきたい。

③利用者の中にはリピーターも多く、新規の登録数も増えている。不登校の生徒の来所も見られており、同じ境遇の人以外とも交流する様子がある。新しい仲間作りを行える場として有効に



働いている一方、既に利用者同士の輪に単独で参加する方が、入りにくい空気を作らないよう、スタッフが参加しやすい声掛けなどを行い、誰でも参加できるより良い居場所となるよう工夫をしていくことが必要。